

# 田んぼダムだより ~第5号~

朝晩の寒さも日に日に増し、空気も乾燥してくる時期、より一層の健康管理が大切ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

人吉・球磨管内で実施している「田んぼダム実証実験事業」については、2月に2年間のとりまとめを行います。今後は、田んぼダムの取組みが定着するよう普及・拡大を推進して参りますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ＜＜令和4年度の動き＞＞

- ・4月下旬～8月下旬…モデル地区内における地元説明会（普及拡大）
- ・6月9日…田んぼジュニアハイスクール（南稜高校との連携）
- ・6月28日…第4回田んぼダム効果等検証委員会（観測方法の協議、農家との意見交換）
- ・9月2日～6日…スマート田んぼダム一斉操作（台風11号発生）
- ・9月27日…第5回田んぼダム効果等検証委員会（観測結果の報告）
- ・12月1日…第6回田んぼダム効果等検証委員会（効果の評価）
- ・12月13日…田んぼダムマイスター講習会



## ◆田んぼダムマイスター講習会を実施！

田んぼダムを推進する地域の中心となる人材『田んぼダムマイスター』を育成するため、12月13日（火）に県庁で講習会を行いました。

講習会には、多面的機能支払交付金活動組織、土地改良区、国、県、市町村、水土里ネット熊本を合わせ、171名もの参加がありました。

講演会冒頭、蒲島知事は、「講習会に参加された皆様には“田んぼダムマイスター”として各地域の取組みをけん引してほしい」と“緑の流域治水”の一翼を担う田んぼダムの取組みに対する強い想いを述べられました。

今後は、令和5年2月に開催予定の田んぼダムマイスター研修会を受講していただいた方を、田んぼダムマイスターとして認定し、地域での田んぼダムの普及活動等に取組んでいただく予定です。



知事挨拶



開場の様子



県からの説明

## ◆今年度の実証実験の結果を紹介します！

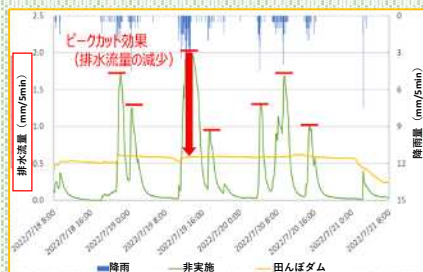
令和3年4月に着手した「田んぼダム実証実験事業」において、田んぼダムによる水田からの流出抑制効果が確認できたほか、水稻や畑作物への影響はないことがわかりました。

### 【田んぼダムの効果】

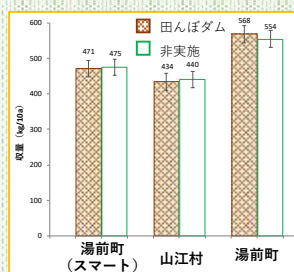
昨年7月18日～21日に発生した総雨量206mmの大雨では、水田に専用のせき板を設置することで、一時的に水田に水を多く貯め、最大で約70～80%のピークカット効果があることが確認できました。水田1枚1枚の効果は小さいですが、多くの水田で田んぼダムに取り組むことで、大きな効果を発揮し、下流域の浸水被害の軽減につながります。

### 【田んぼダム実施による農作物への影響】

田んぼダムが水稻の生育や収量に与える影響を確認するため、湯前町と山江村で収量調査を実施しました。調査の結果、田んぼダム実施の有無によって、収量などに大きな差は生じませんでした。また、草丈や茎数など生育状況の計測にも差は見られませんでした。



湯前町での観測結果



収量の比較



堰板設置状況

収穫後の掛け干し

## ◆農業フェアで田んぼダムを紹介！

11月12日(土)、13日(日)に、合志市の農業公園で開催された農業フェアにおいて、「田んぼダムの取組みの紹介」等を行いました。来場者に田んぼダムなどに対する興味関心や必要性等を尋ねるアンケート調査にご協力いただき、前回(2019年)よりも93名多い、**340名**もの方から回答を得ました。

アンケートの結果、記入者のうち9割以上の方が「田んぼダム」は重要であると回答され、自由記入欄では、「**人吉の水害に役立ててほしい**」といったご意見を多数いただきました。今回の意見は、今後の田んぼダムの普及・啓発の参考にさせていただきます。



開会式



田んぼダム  
ジオラマでの実演

## ◆今後のスケジュール (予定)

- ・ 2月上旬～中旬…田んぼダムマイスター研修会(県内4会場で開催)
- ・ 2月中旬…第7回田んぼダム効果等検証委員会(とりまとめ)
- ・ 3月中旬…田んぼダム効果等検証委員会から提言書の報告会

